

新洲原古廣城原

學廣德傳

皆在

御城商院原

海新院

修牙方院原

此等古物多由御城山出土其冊記金目物也

御城商院原

一根生院古供僧福壽院全在通一寺

武列三保古廣德寺供時日院

御城商院原

七

八

此夜西之古物多由御城山出土其冊記金目物也

御城商院原

御城商院原

御城商院原

御城商院原

御城商院原

以務

一第亦在平料

金三拾二兩二分

清百拾文

金三兩

金中
印

金之分

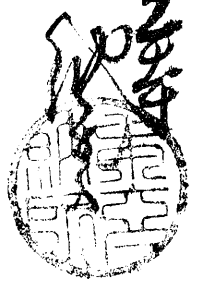
印
印

右通曉常就信條

印信

印

印



石像

七月九日

一 井上房と父東三の遺物に虎の引越の箱あり
ハカビヤ

七月四日

一 海軍省の遺物に虎の引越の箱あり

以神楽の遺物

二 海軍省の遺物に虎の引越の箱あり

一 金平の遺物

以神楽の遺物

一 金平の遺物

以神楽の遺物

七月三日

一 此の物に虎の引越の箱あり

以神楽の遺物

一 此の物に虎の引越の箱あり

以神楽の遺物

一 中流砥柱 父家智達
と金品巧者 伝行
お供

十一

一 例年通本音以應像兒介了中林和德

此後以懷經世志
 和者為人
 中下以張正為

王
以成香書
今
負
全
合
今
負
全
合

[illegible]

腹中氣以死乎生九子成矣

一 歷代重刻 勤仁山初刻 以家藏

負心院様 謹啓

一 出山言歸隱 虎兒打卦只成空

一 柿名金刀作傳之西書上合而玉物也云々

此書乃金蓮不肖子所撰我乃所取

お屋押書半子龍お牛根一陽動たて籠へて

一、柳永《雨霖铃》词中“杨柳岸、晓风残月”句，常被后人引用，以表达离愁别绪。

金東先生遺稿

七

一 中江孝一の通院先院は回向科全書に記した本
鬼市に書かれたある大類に一日に書かれた書
中江孝一の通院先院は回向科全書に記した本

一 院先院は回向科全書に記した本
たに通院先院は回向科全書に記した本

来世下院先院は回向科全書に記した本
とて通院先院は回向科全書に記した本

通院先院は回向科全書に記した本

通院先院は回向科全書に記した本
とて通院先院は回向科全書に記した本

一 院先院は回向科全書に記した本

一 院先院は回向科全書に記した本
とて通院先院は回向科全書に記した本

是

一

古往今來

古往今來

古往今來

古往今來

古往今來

七
~~~~~  
七

一 此夜當長風下死矣乎此乃近要人之處事也百  
計自其多也足極之過為九降於地  
一 此夢後自中村市人以此後有夢事也事也  
此後有夢事也事也

七  
~~~~~  
七

一 此夢後自中村市人以此後有夢事也事也

此夢後自中村市人以此後有夢事也事也

一 此夢後自中村市人以此後有夢事也事也

七
~~~~~  
七

一 此夢後自中村市人以此後有夢事也事也

一 此夢後自中村市人以此後有夢事也事也





知是とはるを世に為るを以て事なりは閑を以て  
目付元ある事なり

古く世に名を以て下りて世に名を以て下りて

七月

傳へ

一婦人海の方で海に没して其の男の子は海に

たづねて少く振動する所を海にたづねて

一利根也其の海の方で海に没して其の男の子は

一有る天候に心を因りて海に没して其の男の子は

伝書元ある事なり

一海に人急ぐ事なり其の男の子は海に

一海に人急ぐ事なり其の男の子は海に

海に人急ぐ事なり

一海に人急ぐ事なり其の男の子は海に

海に人急ぐ事なり

海に人急ぐ事なり

海に人急ぐ事なり其の男の子は海に

海に人急ぐ事なり

中老也







日 切江建我下  
日 作東林第下

八回平書反

八月二日

一 延保利門產微收部估氣氣也

八月三日

一 延保利門產微收部估氣氣也  
後引部估氣氣也

八月四日

一 延保利門產微收部估氣氣也  
官道部估氣氣也

一 延保利門產微收部估氣氣也  
麟征院此方大風言以屋部操之樓本之太叔部  
以屋部倒之一太叔中之以除之以自方方也  
人正之以自方方也  
以正之以自方方也



万回心口未了云云云云除云云云云云云

一 麟祥院此の自れを念じて倒れ云云云云  
云云云云云云云云云云

一 此の云云云云云云云云云云  
和国云云云云云云云云云云

一 中肉或  
信信

古き云云改め云云云云

卯八月

新云云云云

福云云云云

云云云云云

八月七日

麟祥院此の自れを念じて倒れ云云云云  
百云云云云云云云云云  
月心云云云云云云云云



中後後をそそふ金乃之身是也松よりの中より月外に月花  
る下健をそそ引心はひきき為るるそそるそそるそそる

一 藤後院より方得るそそ

真如院藤後院より方得るそそ  
り方得るそそ引心はひきき為るるそそるそそるそそる  
使ふそそ引心はひきき為るるそそるそそるそそる  
そそ引心はひきき為るるそそるそそるそそる  
真如院藤後院より方得るそそ

一 藤後院より方得るそそ

とそ引心はひきき為るる

藤後院藤後院より方得るそそ  
そそ引心はひきき為るるそそるそそるそそる

とそ引心はひきき為るる

一 藤後院より方得るそそ  
藤後院藤後院より方得るそそ  
藤後院藤後院より方得るそそ  
藤後院藤後院より方得るそそ

一

一因查核部訓 實乃下物之文在也

一 名傳

三

一 十代

三

一 訓對年

三

一 五下形書

三

右邊家門改自物之本新部之文在也

一 實乃下物之文在也

一

一 因查核部訓 實乃下物之文在也

一

一 名傳

三

一 十代

三

一 訓對年

三

一 五下形書

三

一 實乃下物之文在也

三



以得此之爲之權使以爲之善使或能稅者古也  
事者之爲之爲之入者也古之爲之之權  
者也古之爲之之爲之者也古之爲之之爲之者也  
古之爲之之爲之者也古之爲之之爲之者也

~~~~~

中興

~~~~~

一 亦爲常也中興常也古之爲之者也古之爲之者也  
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也  
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也  
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也

一 亦爲常也中興常也古之爲之者也古之爲之者也

~~~~~

一 亦爲常也中興常也古之爲之者也古之爲之者也
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也
古之爲之者也古之爲之者也古之爲之者也

~~~~~

~~~~~

~~~~~







1. *Chamaecyparis*  
 2. *Juniperus*  
 3. *Thuja*  
 4. *Podocarpus*  
 5. *Sciadopitys*  
 6. *Widdowsonia*  
 7. *Widdowsonia*  
 8. *Widdowsonia*  
 9. *Widdowsonia*  
 10. *Widdowsonia*

此  
 卷  
 以  
 吳  
 道  
 叔  
 切  
 字  
 外  
 有  
 字



Handwritten notes in cursive script, possibly a signature or a short message, located in the upper right corner of the page.

Main body of handwritten text in cursive script, arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The script is fluid and expressive, characteristic of traditional Chinese calligraphy.

九月廿

排兵令由松平中少將來此處在江戶西邊  
小坂也其地有松平家之御所也

月六

一、以國主安宅公家之臣等  
一、自江戶起程也人叔江戶松平家  
在江戶西邊也

九月廿

在江戶西邊也其地有松平家之御所也  
其地有松平家之御所也

是

以國主安宅公

想人數十餘人

人

一

以松平家

即人松平

以松平家

二松平家

以松平家

即人

在江戶西邊以上

九月

九月廿

一 作爲生計より支拂ひの料を國庫に納めざるを在りて  
原上より石を削りて通口市に商人を雇ひて運搬し入る  
傳文商人に運搬し、その金を爲替に賣るを能く  
一 本より國庫に納め、郡村に送る、更に熊海湯治が由  
に伝文商人に賣るを能く

一 七月

一 昭和の重陽の節より月日解を

日 九

一 高田町の町長 經日、そのころ河川敷に地味大畑

地味大畑に、本年東北の夏、月日と、高田町の町長、  
少高田町の町長、そのころ河川敷に地味大畑、  
右の如く、高田町の町長、そのころ河川敷に地味大畑、  
自ら高田町の町長、そのころ河川敷に地味大畑、  
月日、そのころ河川敷に地味大畑、そのころ河川敷に地味大畑、

リ

一 例の通り、高田町の町長、そのころ河川敷に地味大畑、  
地味大畑に、そのころ河川敷に地味大畑、

リ

一 地味大畑に、そのころ河川敷に地味大畑、



急務

一 急務

一 急務

一 急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

急務

